

シアトル別院時報

39巻月4号

2020 年度教化標語
尊び敬う心



「ダーナ・フォ・ワールド・ピース 5」

輪番 楠 活也



コロナウイルスが広がって、毎日のように、何名の方がコロナウイルスにかかり、何名の方が亡くなりました、というニュースを聞きます。まずは、亡くなられた方、またそのご家族にお悔やみ申し上げます。この状況をどのようにしたら改善できるのか、今、何ができるのか、皆さんも考えているのではないのでしょうか。一つ言えることは、健康な方は、まず、自分の健康、家族の健康を保つことでしょう。そうすることで、医療関係者の方々が、今まさに病気に苦しんでいる人に時間と労力を割くことができます。それも、大切な社会貢献の一つのように思います。その上で、さらに何かできることがないか、それぞれが無理のない範囲で行動することが大切です。外に出たり、人にあつたりすることが難しい状況ではあります。しかし、できることもあります。お友達に、お手紙を書いたり、電話をしたり、E-mail をするのもいいでしょう。みんな不安や恐怖を抱え、孤独を感じています。今こそ、助け合い、思いやりの精神のもとに行動することが大切です。

3月8日のサンデーサービスから、お寺でのサービスがライブストリーミング(ライブ中継)のみのサービスに切り替わりました。どうやら、それは4月も続きそうです。ライブ放送をまだ、ご覧になられていない方は、ぜひご覧になってみて下さい。ライブ中継の見方がわからない方は、いつでもご連絡ください。このような状況の中、ダルマスクールの先生方は、生徒たちのために一つのレッスンを考えてくれました。それは、“ありがとうの瓶”です。一日に一つ感

4月の予定

別院での全ての法要及び催しが中止か延期となりました

- 1日 法要 中止
- 3日 護持会法要 中止
- 5日 花まつり法要 中止 ライブ配信
- 7日 おみがき 延期
- 8日 法要 中止
- 10日・11日 桑原浄信師セミナー 中止
- 12日 家族法要 中止 ライブ配信
- 15日 法要 中止
- 16日 親鸞聖人月法要 中止
- 19日 アースデイ法要 中止 ライブ配信
- 22日 法要 中止
- 23日 別院ティー・タイム 中止
- 24-26日 ダーマクラス先生セミナー 中止
- 25日 アースデイ・セミナー 中止
- 26日 家族法要 未定
- 29日 法要 未定

- 2日 1時半 日系マナー法要 中止
- 16日 1時半 日系マナー法要 中止
- 30日 11時 メリルガーデン法要 未定

謝したこと、ありがとうと感じたことを紙に書いて、瓶の中に入れていくというものです。私も早速始めてみました。みなさんも、どうぞ試してみてください。

このような不自由な生活が続くと、退屈になってくるし、不満が増えてきます。すると、口から文句が出てきます。口から文句が出てくるということは、わたしたちのこころの中も、文句や怒りであふれているということです。不満を抱えた者同士で生きていくと、それはけんかやめごとになります。楽しく幸せに生活することはできません。

ですので、もう少し見方を変えて現状を見る必要があるように思います。確かに不自由な生活であるけれども、まだ、食べ物をグロッサリーショップで買うことができる。ということは、その食べ物を運んだり、作ったりしてくださっている人がいる。不自由な生活ではあるけれども、電気を使うことができる。ということは、電気が使えるように働いてくださっている人がいる。不自由な生活ではあるけれども、家族が一緒にいてくれる。友達が電話をかけてきてくれる。そういう一人一人、一つ一つの行動に、感謝の気持ちを持ち、「ありがとう」と伝えることができれば、私たちの心も「ありがとう」で満たされます。「ありがとう」で心が満たされた者同士が生きていくと、お互い思いやりをもって、平穩に暮らすことができます。これは、今の状況をただ我慢して過ごしていきなさいと言っているのではありません。「ありがとう」を人に届け、自分の心に満たしていくというのは、仏道修行、六波羅蜜の一つ、Dana(布施)の一つの姿です。今こそ、積極的に仏道を歩んでいくときです。私がダルマスクールの生徒の頃、父がこんな詩を教えてくださいました。

“雨が降ったからと言って天に向かってぶつぶつ言うな。雨の日には雨の日の生き方がある。晴れたからと言って天に向かってぶつぶつ言うな。晴れの日には晴れの日生き方がある。”

私たちはそれぞれ、いろんな状況に直面しながら生きています。時には、その状況に我慢しきれずに文句を言ったり、怒りを爆発させたりすることもあります。私も人間ですから、そうなることもあります。そんな時、私は父が教えてくれた詩を思い出します。あの詩を読むと、心の中に少し余裕が生まれます。心に余裕が生まれると周りを見る視野が広がります。そうすると少しずつ、周りに対してありがとうと思える心が湧いてきます。今、みんなが不満と不安を抱え、恐怖や孤独を感じながら生活しています。怒りが爆発したり、文句が出たり、落ち込んだり、そういう状態になりやすい環境にあります。こんな状況であるからこそ、心の中に少しずつ“ありがとう”を満たしていくダルマスクールの先生方が考えてくれたレッスンはとても意味のあるもののように思います。まだ、この先どうなるかわからない状況ではありますが、文句や怒りに満たされた生活ではなく、心に余裕を持ち、視野を広く持ち、感謝に満たされた生活ができるよう勤めることが大切です。

合掌

ウイング・ルーク・ミュージアム・“芝居”展示

ウイング・ルーク・ミュージアムでは大変困難な決定を下し3月14日より4月13日まで閉館することになりました。別院との共同展示になる「芝居」の展示は計画していた3月15日に開催できません。

私たちはミュージアムが後日再開されて、芝居の展示が見られるのを楽しみにしています。別院と日系コミュニティーの歴史の一部であるこの展示に皆様も会場に立ち寄られることを願っています。

ウイング・ルーク・ミュージアムのウェブサイトで見たい新しいインフォメーションがご覧になれます。<https://www.wingluke.org>

またご質問などありましたら真野アンドレア(amano4good@gmail.com)、中島デーナ(dnakashima4@gmail.com) までお知らせください。別院アーカイブ



婦人会便り

大川ジェニー・鹿島加奈子

西北部仏教徒大会:

今年のコンベンションはレントンのハヤット・ホテルで2月21日から23日に開催されました。婦人会は会員の参加費の補助金を充て、80名ほどが参加しました。ホスピタリティー・ルームにはボランティアで作られた、寿司4皿と個人からの多くの料理が寄付されました。会場では多くの会員が各部所でボランティアをしました。また会員の作ったクラフトのテーブルでは761ドルの売り上げがありました。西北部の婦人会が会員の親睦会を催し、カード作りを教わり、他の仏教会のメンバーと知り合える場所となりました。またその場では九条夫人への敬意を表しフード・ドライブがありNWハーベストに寄付されました。



延期されたイベント:

日本・ハワイ製品セール。パンツリー・クリーニング。おみがき。新入会員歓迎法要・会員親睦ランチ。いずれも後ほど新しく日程を決めてご案内します。

新型コロナウイルスの件

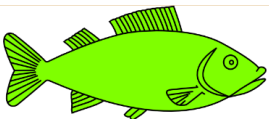
新型コロナウイルスの影響で会員のメンバーの皆様には大変ご心配と不安な日々をお過ごしのことと思います。私たちは皆同じ気持ちですし、他のメンバーの安否を気遣っております。

- * もし外出できなくてお困りのことがありましたら大川ジェニーか鹿島かなこまでお知らせください。お寺のボランティアの方々がお手伝いできます。(65歳以上の方で外へ出られない方々)
 - * 買い物が必要な方はボランティアが配達できます。
 - * アマゾンでの買い物はとても便利です。
- ご質問などは下記のメール・アドレスか婦人会名簿にある電話番号におかけください。

Gassho,
Kanao Kashima - kanako_kashima@hotmail.com
Janie Okawa - jmo528@hotmail.com



第8回サーモンディナー



サーモン・ディナーは中止となりましたがこれは例年別院にとって大事なファンドレイズです。会員の皆様のご支援によって別院は機能しております。今後も引き続き施設を維持し、セミナーなどのプログラムを出来るためにもご寄付をされますようお願いいたします。

別院維持会会費

今年の維持会費は70歳以下は400ドル、70歳以上は350ドル。よろしくお願いたします。3月に収められた方々のお名前が英語面にあります。ありがとうございました。

5月の予定

羽田信生先生の春のセミナーは中止になりました。

西北部仏教徒大会 写真提供 ジョセフ・ゴチ



2020年 ウーマン・イン・ブディズム 10月3日（土）9時半～3時半



第七回目のコンフェレンスは去年に続き「ツール フォ スピリチュアル ウェルネス 2番」（健全な精神を培う手段）という題で開催されます。講師にはカメラ・ジャベラノ・平野、ボニー・ジュラン、シャーロン・スー教授、シェリー水森教授、タラ・タマリブチが予定されています。御念仏・頭脳とのコネクション・ヴィパッサナー瞑想の動き・金継ぎ など興味深い内容となっています。シアトル別院・別院婦人会共催。

別院スカラシップ

辻原ハロルド・よしコスカラシップ及び下紺まさる・みつまスカラシップの受賞者が発表されました。詳細は英語面をご覧ください。日曜法要にて受賞者のエッセイが朗読されます。

第七十三回西北部仏教徒大会がレントンのハヤットホテルにて全米開教使会議と寺院代表者会議と同週に開催されました。

全米開教使会議は18日より、梅津総長とカナダ仏教団の青木総長の出席のもと37名の開教使で始まり、寺院代表者会議は20日より始まりました。全員が仏教徒大会に出席しました。

西北部教区の出席者には多くの先生方や代表者にお会い出来る稀に見る機会でした。カナダやハワイからも代表者が出席されました。

出席者は全部のウォークショップに参加出来ないのが残念でした。スピーカーの方々は素晴らしかっただけでなく刺激的でした。

524名が土曜日のバンケットに参加し、新旧の友人と一夜を楽しみました。ラッフル・チケットは梅津夫人に当たり、100ドルは財団ファンドに寄付されました。

会長の挨拶

リアン・西・ウオング

この度のととても大変困難な時に別院のメンバーの方々がいろんな所でご奉仕されているのを見て感心しています。

ユーチューブのビデオで法要の様子をお伝えしています、この機械も十分ではなかったのですがボランティアの方々のお陰で毎週発信しています。現在、在宅の発令に応えビデオは各個人の家で製作しています。別院メンバー以外の方ですが、お気づきになり、性能の良い機械の購入のためにご寄付をしてくださいました。

他の方々も伝えない方に手を差し伸べて買い物などのサポートをしておられます。

見えない所で別院のプロジェクトは続いています。皆様の中でお手伝いできる方はメールで chairperson@seattlebetsuin.org. までお知らせください。

別院ではガターの掃除、排水溝の掃除、ペイント、階段のセーフティー・テープ、パークの掃き掃除、そして別院内外の消毒、全般の維持などボランティアの方々がお寺を維持しておられました。別院が閉まってからボランティア希望の多くのメールをもらいました。残念ですが別院では消毒をしましたの今後再開誰も入れません。

多くの感謝とともに今後再会できる日を楽しみにしております。 合掌

